令和5年度入学生用カリキュラムマップ

【看護学科】

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
基礎教育科目	看護を学ぶ基礎	23UNSB1101	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	大学の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。			○					○	○	○	
		23UNSB1102	初期演習Ⅱ（生活と看護）	1	看護学部で学ぶための基礎的な能力（アカデミックスキルズ）と看護の対象となる生活者を理解するための基礎知識を身につけ、看護専門職者としてのキャリアデザインの基盤作りを目指す。	1．看護学科の3つのポリシー（専門科目の前提となる基礎学力、カリキュラム構成、卒業要件）が理解できる。 2．アカデミックスキルズ（ノートテイキング、情報検索、レポート作成の方法、プレゼンテーションの技法）を身につける。 3．看護専門職者として自覚を持ち、自らのキャリアデザインを描くことができる力を身につける。 4．看護専門職者として倫理観を育む力を身につける。	○		○					○	○	○	
		23UNSB2103	医学英語	2	患者の健康状態や治療状況を理解する上で重要な患者の身体各部や解剖学・生理学に関連する医学英語を理解し、その用語の構造に関して接尾語・接頭語に分けて語句の意味を予測したり、広く関連用語の語彙を増やすことを目的としている。また、よく医療現場で用いられる用語の使い方や略語の意味などについても理解できるようにする。	1．身体各部や解剖学、生理学、病態学に関する英語について学び、どのように実際に使うのかを説明できる。 2．医療現場で用いられる略語の基本的な意味を調べる方法を知り、原語と意味を記述することができる。		○	○								
		23UNSB2104	看護英語基礎	2	看護や医療関連の英文や現場で使用される英語表現に親しむことで、文法を復習しながら英語による表現方法や記述の仕方、形態などを知り、英文情報で記述されている内容を正確に理解することを目的としている。	1．看護・医療の現場で使用される基礎的な英語表現の具体例を記述することができる。 2．英文で記載されている看護・医療関連の情報（新聞記事・関連ホームページ・研究論文・電子メール等）で示されている内容の意味を説明できる。		○	○								
		23UNSB1105	情報活用の基礎	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	1．本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 2．基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 3．レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。		○									

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
基礎教育科目	看護を学ぶ基礎	23UNSB1106	看護応用統計学	1	保健医療分野で用いられる統計手法（基本統計分析から推測統計の初歩）の意味や手法についての基礎的知識を修得することを目的とする。	1．記述統計の種類と意味について学び、それぞれの手法で示すデータの意味を説明することができる。 2．分析の目的に合うデータ収集法や分析方法・統計手法を選択することができる。		○									
	人体の構造と機能	23UNSB1107	解剖生理学Ⅰ	1	人間の形態と機能、構造を系統的に学ぶとともに、形態と機能を関連付けて学習し、看護実践の方法や治療の必要性を理解するための基礎知識を修得することを目的としている。	1．人間の形態と機能、構造について系統的に学び、その基礎的な特徴や働きを説明することができる。 2．看護や医学的な処置を行う上での注意点を結びつけて、人間の形態や機能、構造を理解する必要性を考察することができる。		◎									
		23UNSB1108	解剖生理学Ⅱ	1	人間の形態と機能、構造を系統的に学ぶとともに、形態と機能を関連付けて学習し、看護実践の方法や治療の必要性を理解するための基礎知識を修得することを目的としている。	1．人間の形態と機能、構造について系統的に学び、その基礎的な特徴や働きを説明することができる。 2．看護や医学的な処置を行う上での注意点を結びつけて、人間の形態や機能、構造を理解する必要性を考察することができる。		◎									
		23UNSB1109	栄養代謝学	1	援助の対象となる人間の体内で起こっている合成と分解、代謝、排泄、免疫反応のメカニズム、遺伝情報（DNA、RNA）の概要が理解できるような基礎的知識を学ぶことを目的としている。	1．生命活動にかかわるすべての分子の正常な代謝についての基礎知識を整理し、これらの代謝にかかわる基本的な用語を説明できる。 2．正常な代謝や反応を学ぶことにより、異常時の状態を判断する情報の理解や人間の機能への影響の重要性を考察することができる。		◎									
	疾病の成り立ちと回復促進	23UNSB1110	臨床病態栄養学	1	適正な栄養摂取と食生活は、健康の維持・促進、および疾病の予防・増悪防止の基本である。 しかし、疾病の病態、病期によって食物の消化吸収・経口摂取等が障害され、適正な栄養補給が困難になる。そこで、各疾病等の病態や病期を踏まえた栄養・食事療法に関する基礎的知識の獲得を目的とする。	1．各疾病等の病態・病期によって生じる栄養・食事摂取に関わる問題を説明できる。 2．各疾病等の病態・病期に対する必要な栄養・食事療法を説明できる。		◎									

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
基礎教育科目	疾病の成り立ちと回復促進	23UNSB1111	微生物学と感染防御	1	微生物の基本的特徴と人間の健康に重大な影響をもたらす病原微生物の種類や特性とそれが引き起こす感染症の機序に関する基礎知識の獲得を目的としている。特に、感染症発生の要因を理解するための基盤となる感染防御反応（宿主、免疫、抗体など）や感染防御策に関連する基礎的用語（スタンダードプリコーション、流行、法律）を学習する。	1．病原微生物の種類や特性とそれが引き起こす感染症の特徴を説明できる。 2．感染防御策の必要性と基本的な方法の留意点を記述することができる。		◎									
		23UNSB2112	看護薬理学	2	正確で安全な薬物療法を実施するための看護師の役割という観点で、主な薬物の作用や薬物動態の基礎的な理解を目的とする。また、用量、用法による違いや作用、副作用の意味を学び、リスクも踏まえて実際に薬物療法を行う際の援助の留意点に結びつけられるような基礎知識の獲得を目的とする。また、薬害被害の歴史と現状、薬害防止と被害者への対応の在り方を考察できるようにする。	1．主な薬物の作用や薬物動態について説明できる。 2．与薬法：経口、点滴、直腸内、点眼、経皮などの投与経路による作用や薬物動態の特徴を記述できる。 3．神経系に作用する薬剤、呼吸器・消化器・循環器疾患に用いる薬剤、疼痛緩和に用いる薬剤、化学療法の特徴や注意点を説明できる。		◎									
		23UNSB1113	疾病治療概論	1	看護実践を行う上で、治療の必要性や治療に伴う援助の方法を検討する上で必要となる患者の病態、診断、治療に関する基礎的知識基盤を構築することを目的とする。	1．主な疾患の特徴を自分なりに整理して説明できる。 2．講義内容に基づいて各治療の特徴や留意点を抽出して、記述することができる。		◎									
		23UNSB3114	リハビリテーション学	3	健康問題を有する援助の対象者が、再び日常生活を送るために必要なリハビリテーションの基礎知識を修得し、理論と実践の概要を学ぶことを目的としている。	1．リハビリテーションの意味やあり方を自分なりに整理して説明できる。 2．様々な場面におけるリハビリテーションの特徴や留意点を抽出して、看護師の役割を考察することができる。		◎									
	健康支援と社会保障制度	23UNSB2115	保健医療福祉制度	2	本科目では、保健・医療・福祉の行政の歴史、制度や関係法規に関する基礎知識を学び、母子や成人、高齢者の保健医療福祉行政の概要と国や地方自治体が担う役割や機能に関する基礎的知識の修得を目的としている。加えて、将来的な保健医療福祉行政の課題について考察できるようにする。	1．保健医療サービスの対象者の生活を支える年金保険制度や医療保険制度、介護保険制度の基本的な仕組みに関する基本的枠組みや基礎用語を説明できる。 2．母子・成人・高齢者の保健医療福祉に関する制度の現状や課題を理解し、自分の言葉でまとめることができる。		◎									○

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
基礎教育科目	健康支援と社会保障制度	23UNSB3116	チーム医療論	3	保健医療福祉分野におけるチームアプローチの必要性を理解し、各専門職者の役割や機能の特徴を知り、理解を深めるとともに、連携のあり方や看護職者の役割・責任に対する考え方を明確にすることを目的とする。	1．保健医療福祉分野の各専門職者の役割や機能の特徴を説明できる。 2．チームアプローチの必要性を記述することができる。 3．チーム医療における看護職者の役割や責任を自分の言葉で説明できる。		◎									◎
		23UNSB3117	疫学	3	健康づくりを中心とした予防的な保健活動を行うにあたり、その根拠を科学的に評価することは不可欠である。人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにする疫学の基礎を教授する。	疫学の概念および疾病頻度の指標、疫学調査法を理解し、既存統計資料の利用方法について学ぶ。具体的な疫学研究と保健活動への活用の実際を知り、その必要性について理解する。		◎			○						
	基礎看護学分野	23UNSS1131	看護学概論	1	看護の概念および生活者としての看護の対象に看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」「生活」について学び、また、看護の歴史や看護理論、看護制度、看護教育制度、看護倫理などに関する看護実践の基礎的知識を習得する。それを通して、看護の対象である人間について看護の視点から洞察を深めるとともに、看護師として必要とされる基本的態度や自己研鑽・看護観構築の必要性を理解する。	1．看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」「生活」を理解し、看護とは何か、看護師とは何かについて、自分なりの考えをまとめることができる。 2．看護の歴史や制度から現在の看護の位置づけを記述することができる。 3．看護理論や看護倫理の必要性と看護実践とのつながりを説明できる。	◎	◎						◎	○	○	
		23UNSS2132	看護援助論	2	看護援助の基盤となる思考プロセスと科学的根拠に基づく看護実践の重要性について学ぶ。本科目では、まず看護過程・看護診断診断過程の基本を教授する。それに基づき紙上患者を用いて具体例を解説し、看護援助の必要性をアセスメントし計画していく一連のプロセスが理解できるよう個人課題作業を含め、具体的に学べるようにする。また科学的根拠に基づく看護実践の重要性について教授し、科学的根拠を調べまた検証する方法について探索的に学べるようにする。	1．看護過程の意義や構成要素について説明することができる。 2．患者情報に基づいてデータベースを作成できる。 3．データベースの情報を解釈・統合し、看護問題を抽出できる。 4．評価につながる達成可能な患者目標を設定し、それに到達するような計画を具体的に立てることができる。 5．評価を行うときの注目点が分かる。 6．科学的根拠に基づく看護実践の重要性を述べることができる。 7．科学的根拠を調べ、検証する方法を知る。		◎			○	○	◎				
専門教育科目		23UNSS1133	基礎看護技術演習Ⅰ	1	本科目は看護行為に共通する技術について、看護実践における看護技術とは何かをふまえて講義と演習を統合させながら基本技術を修得する。各単元は、「看護における技術の概念」「看護技術に必要な安全・安楽・自立」「観察・記録・報告」「バイタルサインの測定」「環境の調整」「ボディメカニクス」「安楽な体位」「食事と栄養」「フィジカルアセスメント」などである。	1．安全、安楽、自立を考慮し、効率的な共通基本技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2．基礎的な共通基本技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3．基礎的な共通基本技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。		○	◎	◎		○		○			

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	基礎看護学分野	23UNSS1134	基礎看護技術演習Ⅱ	1	本科目は基礎看護技術演習Ⅰを基盤として、患者の生活や機能面からみた日常生活行動に焦点をあてた援助技術の習得を目指している。特に、人間の生活や健康にとっての日常生活行動の意味を理解しながら、対象の健康レベルや発達段階に応じた日常生活援助の必要性が判断でき、対象に応じた日常生活援助が実施できるよう技術の原理原則と応用面への基礎的学習を行う。単元は、「体位変換」「移動移送」「リネンチェンジ」「排泄」「衣生活」「身体の清潔」などである。	1．安全、安楽、自立を考慮し、効率的な日常生活援助技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2．基礎的な日常生活援助技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3．基礎的な日常生活援助技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。		○	◎	◎		○		○			
		23UNSS2135	基礎看護技術演習Ⅲ	2	本科目は基礎看護技術演習Ⅰ、Ⅱの知識と技術を基盤に、療養生活の中での診断と治療場面における患者の安全・安楽を確保する援助技術を学習する。単元は「感染予防」「排泄を促す技術」「呼吸を整える技術：吸入・吸引」「検査と看護：採血」「与薬と看護：内服・注射」などである。療養生活の中での診断と治療にかかわる看護師の役割を踏まえ、患者の診断と治療が安全で確実に実施されるような基本的技術の習得を目指す。	1．安全、安楽、自立および療養生活を考慮し、確実な治療処置技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2．基礎的な治療処置技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3．基礎的な治療処置技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。		○	◎	◎		○		○			
		23UNSS2136	看護アセスメント演習	2	身体的側面から対象者の健康上の問題を査定・評価するフィジカルアセスメントの知識と技術を習得し、心理的側面・社会的側面を含めたヘルスアセスメントの方法を学習する。 また、ヘルスアセスメントに基づいて日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する過程を具体的な事例を通して理解することを目的とする。	1．対象の身体の状態を診査する基本的手技を習得することができる。 2．身体診査や問診結果から対象に何が起こっているかをアセスメントすることができる。 3．日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する一連の過程を事例で展開をすることを通して理解することができる。		○	◎	◎		○		○			
		23UNSS1137	基礎看護学実習Ⅰ	1	看護の対象となる人を中心にして、その人が生活する療養生活、療養環境、および療養している人の身体心理社会的な様子を知ることを目的としている。また、看護師の実際の看護活動を見学し、看護援助の実際や療養生活を支える看護師の役割についての理解を深めることを目的としている。加えて、実際に対象との対話の機会を持つことで、看護援助の基本となるコミュニケーション能力や観察能力の重要性と自己の課題を明確にして、学習動機に結びつける。	1．看護の対象者の療養生活を支える施設の総合的な機能や他職種の役割を説明することができる。 2．対象者の療養生活およびその人の身体心理社会的な様子を自分の言葉で説明できる。 3．看護援助の場面を見学することにより、療養生活をサポートする看護師の役割を考察することができる。 4．対象を理解しようとする姿勢でコミュニケーションをとることができる。 5．自己の学習課題を明確にすることができる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	基礎看護学分野	23UNSS2138	基礎看護学実習Ⅱ	2	対象に必要な日常生活援助の実施を通して、個別性のある看護技術の実施とは何かを学び、看護の機能と看護師の役割の実際を理解する。特に、患者とのコミュニケーション技術や観察技術に基づいて情報収集を行い、日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価の過程を展開するものである。これを通して、看護師としての基本的な態度や役割についての考察を深める。また、今後の自己の学習課題を明確にする。	1．対象に合わせた基本的な日常生活技術を指導を受けながら実践することができる。 2．実践したことを安全・安楽・自立の視点から振り返ることができる。 3．対象を尊重し、対象を理解しようとする姿勢でコミュニケーションをとることができる。 4．対象のプライバシーを守り、倫理的な行動がとれる。 5．自己の学習課題を明確にすることができる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	在宅看護学分野	23UNSS2139	在宅看護学概論	2	生活の場である在宅で療養生活を送る人と家族を理解し、在宅療養を支える看護のあり方を多面的に学習する。	1．在宅療養者と家族の特徴について説明できる。 2．在宅看護の役割、機能について説明できる。 3．在宅看護の現状から課題を考えることができる。	◎	◎						○			
		23UNSS2140	在宅看護学Ⅰ	2	在宅療養者と家族の生活や価値観を理解・尊重し、在宅看護の援助の実践に必要な知識、技術、態度について学習する。	1．在宅療養者と家族の生活、価値観を尊重した日常生活援助方法が説明できる。 2．在宅療養者と家族の生活、価値観を尊重した在宅看護における訪問マナーを理解できる。 3．在宅看護の対象の特徴に応じた看護技術や看護展開が理解できる。		◎									
		23UNSS3141	在宅看護学Ⅱ	3	在宅で療養する対象者への看護について、演習をとおして対象者の療養生活をイメージしながら、対象者の生活や価値観に応じた援助の方法および看護過程の展開方法について考える力を養うことを目的とする。	1．在宅看護を実践する上で必要な訪問マナーや対象者のとのコミュニケーションについて考えることができる。 2．在宅で行われる日常生活援助および医療ケアの方法について理解できる。 3．対象者の生活や価値観に応じた援助の工夫について考えることができる。 4．対象者の生活、価値観、強みに配慮した看護過程の展開方法について理解できる。			○	○	◎	◎	◎	○			
		23UNSS2142	地域看護学	2	地域で生活するすべてのライフステージ、すべての健康レベルにある個人・家族、集団、地域を対象とする生活の場における看護について学ぶ。	1．地域看護の歴史および地域看護活動の基盤となる概念について理解できる。 2．地域看護の対象と地域看護活動を展開する場および活動方法を理解できる。 3．地域で生活する住民の疾病予防、健康の保持・増進にかかわる地域のヘルスケアシステムについて理解できる。		◎			○	○						○
		23UNSS3143	地域・在宅看護学実習	3後～4前	在宅で療養生活を送る対象者および家族とのかかわりをとおして、在宅における看護の実際について理解する。また、対象者を取り巻く地域にも目を向け、地域ケアシステムについての理解を深めるとともに、地域の中で在宅看護を実践するための基礎的能力を養うことを目的とする。	1．対象者と家族の健康課題および生活課題を見出し、療養上の問題について考えることができる。 2．対象者と家族の看護上のニーズに対して、生活や価値観に配慮した看護計画を立案することができる。 3．在宅療養を支える地域の保健医療福祉の連携や協働の必要性について理解できる。 4．地域における在宅看護の役割と特徴について説明できる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	成人看護学分野	23UNSS1144	成人看護学概論	1	成人看護学各論への導入として「成人」「成人をとりまく健康課題」「成人看護展開のための理論および概念」「健康状態に応じた看護」を理解し、成人看護実践の基盤にできることを目的とする。	1．成人期にある人々の心身の機能と発達課題、家族や社会における役割を説明できる。 2．成人期における健康問題や課題を説明できる。 3．成人看護に有用な理論および概念を理解できる。 4．成人期にある人々を支援する看護活動および看護師の役割について説明できる。	◎	◎						◎			
		23UNSS2145	成人看護学ＩＡ	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・健康障害に応じた必要な看護援助とその根拠を理解する。	1．疾患、病態、治療に関連した身体・心理・社会的側面への影響を理解できる。 2．疾患や病態の慢性・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3．疾患、病態時期に必要な治療とその看護援助について理解できる。 4．慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5．クリティカルな状況にある患者への看護について理解できる。		◎									
		23UNSS2146	成人看護学ＩＢ	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・障害を抱えて生活する対象者に応じた必要な援助とその根拠を理解する。	1．疾患、病態、治療に関連した身体機能への影響を理解できる。 2．疾患や病態の慢性期・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3．疾患、病態時期に必要な治療とその看護について理解できる。 4．慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5．周手術期、クリティカルな状態にある患者・家族への看護について理解できる。		◎									
		23UNSS3147	成人看護学Ⅱ（慢性期）	3	慢性的な疾病や障害を有する対象者を看護するにあたり必要な基礎的知識と技術を正確に理解し、演習を通して対象者の療養生活を実際にイメージしながら、個々の対象者に必要な援助について考える力を養うことを目的とする。	1．慢性的な疾病や障害によって必要となる療養法について学び、それが生活に及ぼす影響について、対象者の立場で考察できる。 2．慢性的な疾病や障害を有する対象者の療養生活を支援するために必要となる一般的な知識と技術について学び、その上で個々の対象者に応じた看護援助について考察できる。 3．慢性的な疾病や障害を有する対象者の看護過程について学び、情報の収集・整理からアセスメント、看護上の問題の抽出、看護計画の立案まで、自分で展開できる。			○	○	◎	◎	◎				
		23UNSS3148	成人看護学Ⅱ（急性期）	3	周手術期／急性期にある対象者の治療や看護に必要な知識や考え方への理解および、根拠に基づく正確な看護技術の習得を通して、疾患や治療による心身の変化への適応やその人らしい生活への再構築を促す援助について考える力を養うことを目的とする。	1．手術療法など侵襲的治療を受ける患者に生じる心身の変化を理解し、治療に伴う合併症の予防および、治療により変化した心身の状態や生活への適応を促す援助について考察できる。 2．周手術期にある患者の術前と術後の看護に必要な知識と技術を理解し、根拠に基づく正確な看護技術を習得する。 3．手術療法など侵襲的治療を受ける患者の看護過程について学び、情報収集、整理とアセスメント、看護問題の抽出と優先順位の検討、看護計画の立案までを展開できる。			○	○	◎	◎	◎				
		23UNSS2149	サポーティブケア	2	がん化学療法や放射線療法による有害事象を緩和する援助、ADL低下に対する援助、苦痛症状の緩和、セルフケア促進のための援助について理解できる。	1．がん化学療法や放射線療法による有害事象やそれらを緩和する援助を理解できる。 2．痛みの評価方法や徐痛方法を理解できる。 3．がん患者の心のケアの必要性を理解できる。		◎									

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	成人看護学分野	23UNSS3150	成人看護学実習（慢性期）	3後～4前	この科目は、これまでの授業を通して習得した知識と技術をもとにして、慢性的な疾病や障害を有する対象者への看護のあり方を理解しながら、看護過程の能力を養い、個々の対象者に必要な援助方法を学ぶことを目的としている。	1．対象者の病態および治療による身体状況を理解できる。 2．対象者との円滑なコミュニケーションを通じて信頼関係を築くとともに、対象者の置かれた心理的社会的背景を理解できる。 3．対象者の生活を尊重した援助を考えることができる。 4．対象者のセルフケアやセルフマネジメントを支援するためのかかわりを考えることができる。 5．対象者の療養生活を継続するために必要な社会資源の活用や継続看護、多職種との連携について考えることができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		23UNSS3151	成人看護学実習（急性期）	3後～4前	手術療法など侵襲的治療を必要とする対象者への看護において、急性期における看護の役割と援助の実際を学ぶと共に、対象者が疾患や治療により生じた心身の変化に適応し、その人らしい生活の再構築に主体的に取り組むことへの支援について学ぶことを目的としている。	1．成人期にある対象者の発達課題、生活背景や社会的役割等を理解し、病態および治療の必要性とその影響を理解できる。 2．対象者とその家族の、疾患と治療に対する認識、心理社会的状況について理解できる。 3．対象者に行われる治療を理解し、侵襲的治療による生体反応と発症リスクの高い合併症を理解できる。 4．対象者に行われる検査や処置の目的とその結果を把握し、必要とされる援助を理解できる。 5．疾患や治療により対象者の心身に生じた変化をふまえ、社会生活への復帰に向けた支援を考え実践できる。 6．周手術期または、疾病の急性増悪や突然発症の状況にある対象者の看護上の問題を明確にし、看護目標を設定し、看護計画を立案・実施・評価することができる。 7．医療チームのメンバーとしての自己の責任を自覚し、連携や協働できる。 8．自身の看護を振り返り、課題を明らかにし、改善に向け取り組むことができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	老年看護学分野	23UNSS2152	老年看護学概論	2	この科目では、身体的、精神的、社会的側面から高齢者の健康課題を理解し、看護の役割について考える力を養うことを目的とする。	1．加齢に伴う身体的、精神的、社会的な変化を、理論やモデルを通して理解できる。 2．高齢者の健康課題について説明できる。 3．高齢者を支える保健・医療・福祉システムについて理解できる。 4．高齢者看護の役割について、自分の言葉で説明できる。	◎	◎						○			
		23UNSS2153	老年看護学Ⅰ	2	この科目では、高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的な機能変化によって生じる日常生活への影響の理解を基盤とし、高齢者に特徴的な症状や疾患を持つ方への看護を実践するための基礎力を養うことを目的とする。	1．加齢に伴う身体的、精神的、社会的な機能変化を、高齢者体験を通して理解できる。 2．高齢者の身体の加齢変化が日常生活に及ぼす影響について説明できる。 3．高齢者の身体の加齢変化と日常生活のアセスメントの視点について理解できる。 4．健康障害を持つ高齢者のアセスメントの視点を理解できる。 5．高齢者の生活を支える看護の具体的な方法について、自分の言葉で説明できる。		◎									
		23UNSS3154	老年看護学Ⅱ	3	この科目では、これまでの老年看護学に関する既習の知識を統合しながら看護過程を展開し、高齢者の個別性に合わせた看護を考える力を養うことを目的とする。	1．医療依存度が低い高齢者の生活支援の視点について理解できる。 2．医療依存度が低い高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 3．治療が高齢者に及ぼす影響について理解できる。 4．治療を必要とする高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 5．医療依存度が低い事例高齢者の看護過程の展開ができる。 6．治療を必要とする事例高齢者の看護過程の展開ができる。			○	○	◎	◎	◎				

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	老年看護学分野	23UNSS2155	アクティブエイジング	2	この科目では、高齢者が疾患や障害を持ちながらも活動的な生活を送ることを支援するための看護について考える力を養うことを目的とする。	1．高齢者の健康の維持・増進のための看護について考えることができる。 2．高齢者の活動的な生活を支援するための具体的な方法について説明ができる。		◎									
		23UNSS3156	老年看護学実習	3後～4前	この科目では、老年期にある様々な健康段階の人を身体的、心理的、社会的側面から統合的に理解し、その人を取り巻く家族や生活環境、社会資源について理解を深め、健康生活課題の解決を支援する基礎的能力を養い、個々の対象者に必要な援助方法を学ぶことを目的とする。	1．ケアマネジメントの第一線機関である地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の概要を理解し、実施されているマネジメント業務の実際について学ぶ。 2．地域で生活する老年期にある様々な健康段階の人のニーズおよび相談内容を知り、健康生活課題の解決を支援する方法について考える力を養う。 3．地域包括支援センターや居宅介護支援事業所における看護職の役割について理解できる。 4．介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護等、様々な社会資源について理解できる。 5．介護老人保健施設を利用する高齢者の健康課題について理解できる。 6．介護老人保健施設における看護の役割について、考えを述べることができる。 7．介護老人保健施設における多職種連携について説明できる。 8．介護老人福祉施設に入所している高齢者の受け持ちを通して、看護過程の展開ができる。 9．介護老人福祉施設におけるチームアプローチと多職種連携について、説明することができる。 10. 介護老人福祉施設における看護の役割について、考えを述べることができる。 11. 自己の高齢者観と看護観を説明できる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	小児看護学分野	23UNSS1157	小児看護学概論	1	この科目は、対象となる小児の成長発達と家族の役割を理解したうえで、小児看護に関する変遷を踏まえたうえで、小児看護の機能と役割、社会の子どもに対する対応について学ぶことを目的としている。	1．小児看護に関する発展の変遷および機能や役割についての考え方を理解できる。 2．子どもの成長発達について、主な発達理論や発達過程の特徴および発達段階に応じた対応を理解できる。 3．子どもの発達に伴う家族の変化や役割を理解できる。 4．子どもにかかわる法律や保健政策の現状を知り、社会の中で育つ子どもに必要な支援を理解できる。	◎	◎						○			
		23UNSS2158	小児看護学Ⅰ	2	この科目は、子どもに特徴的な疾患および健康障害について理解し、その疾患および健康障害がある子どもと家族に看護を実施するための基礎知識を獲得することを目的としている。	1．子どもの安全と事故防止について理解し、説明ができるようになる。 2．子どもの病気の影響や入院生活について理解し、説明ができるようになる。 3．プレパレーションについて理解し、説明ができるようになる。 4．小児看護の実践家の役割について理解し、説明ができるようになる。 5．子どもに特徴的な疾患および健康障害について理解し、その看護援助の方法について説明ができるようになる。 6．小児の外来および救急における看護について理解し、その特徴について説明ができるようになる。	○	◎									

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	小児看護学分野	23UNSS2159	小児看護学Ⅱ	2	この科目は、子どもへの日常生活援助の技術およびフィジカルアセスメントの技術を学び、入院する子どもの看護過程の展開に必要な能力を習得することを目的としている。	1．フィジカルアセスメントの方法について理解し、モデルを対象に実施できるようになる。 2．子どもの日常生活援助について、説明ができるようになる。 3．子どもの遊びや絵本の読み聞かせについて理解し、実施できるようになる。 4．健康障害を抱える子どもと家族の事例について、情報をもとにアセスメントし、看護問題の明確化ができるようになる。 5．健康障害を抱える子どもと家族の事例について、看護計画の立案ができるようになる。 6．グループワークで、積極的な態度を示すことができる。 7．グループワークで、自身の意見およびグループの意見を述べることができる。			○	○	◎	◎	◎				
		23UNSS3160	チャイルドディベロップメンタルアプローチ	3	この科目は、子どもが育つ過程で生じる子どもと家族に生じる問題に関して、子どもと家族の生活の変化や家族関係を考慮した対応をグループ討議やワークで具体的に検討できることを目的としている。	1．子どもの育つ過程で生じる具体的な問題から、子どもの発達への影響や支援を考えることができる。 2．グループワークや発表を行うことを通じて、メンバー相互の協力や協調を学ぶことができる。 3．育児期の家族に生じやすい具体的な問題から、家族の発達と支援のあり方を考えることができる。		○	○		◎	◎	◎				
		23UNSS3161	小児看護学実習	3後～4前	この科目では、保育園・幼稚園において健康な子どもの成長発達と発達に応じた援助の実際を学び、さらに病院に通院あるいは入院している子どもと家族に対する看護の実際を学ぶことを目的としている。	1．乳幼児期の子どもの成長発達を評価し、発達に応じた子どもへの援助が実践できるようになる。 2．保育士あるいは幼稚園教諭の行う子どもの発達に応じたより適切な対応について理解し、説明ができるようになる。 3．通院中あるいは入院中の子どもの病状・治療と成長発達に応じた適切なニーズを理解した上で、子どもと家族のニーズに応じたケアの計画、実施、評価ができるようになる。 4．子どもと家族にとって必要な社会資源を理解するとともに、保健医療メンバーとしての役割と連携について理解し、説明ができるようになる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	母性看護学分野	23UNSS2162	母性看護学概論	2	この科目は母性看護の対象となる親・子ども（胎児を含む）・家族を理解するために必要な概念、理論について教授するとともに、対象を取り巻く社会的な変化や法律を踏まえた対象の健康課題やニーズを理解し、母性看護の基本を学ぶことを目的とする。	1．母性看護の対象理解に必要な概念、理論について説明できる。 2．母子保健の統計指標について説明でき、母子保健の動向を把握できる。 3．母性看護における看護援助の基本的な考え方を説明できる。	◎	◎						○			
		23UNSS2163	母性看護学Ⅰ	2	この科目は妊娠、出産を経て新しい家族を構築していく周産期の女性、新生児とその家族の健康状態をアセスメントするために必要な知識の習得を目的としている。	1．妊娠・分娩・産褥期の女性が経験する身体的な変化および心理・社会的変化を説明できる。 2．胎児・新生児の発達・適応過程を説明できる。 3．周産期に生じやすい異常・健康障害を説明できる。		◎			○						

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	母性看護学分野	23UNSS3164	母性看護学Ⅱ	3	この科目は、周産期（妊娠・分娩・産褥期）の女性、新生児とその家族に対する看護を実践するために、母性看護学概論、母性看護学Ⅰ、その他の関連科目で習得した知識・技術を統合し、看護計画を立案する能力を養うことを目的としている。	1．対象（周産期の女性、新生児および家族）の健康状態をアセスメントするために必要な知識、技術を述べることができる。 2．対象の健康状態を適切にアセスメントできる。 3．アセスメントに基づき、対象の健康増進のために必要な看護ケアを計画することができる。 4．グループワーク（GW）ではメンバーと協力して取り組み、課題を完成することができる。					◎	◎	◎				
		23UNSS2165	ウィメンズヘルスケア	2	この科目は女性のライフサイクルにおける健康課題・問題を理解し、女性とその家族の健康を維持、増進するための看護について学ぶことを目的としている。	1．女性の生涯における身体的変化と心理・社会的発達について理解できる。 2．ライフサイクルにおける女性の健康課題・問題を概観し、その特徴を説明できる。 3．女性の健康課題・問題に応じた看護援助について具体的に考えることができる。		◎			○						
		23UNSS3166	母性看護学実習	3後～4前	この科目は、これまでに学んできた知識と技術を統合し、周産期の女性、新生児、その家族への臨床看護に活用して援助を実践するための基礎的能力を養うことを目的としている。さらに、保健医療チームの一員として他のメンバーと協働する能力を養う。	1．周産期にある女性・新生児とその家族の健康状態を多面的・統合的にアセスメントできる。 2．アセスメントに基づき、対象の健康増進に必要な看護ケアを計画できる。 3．看護ケアを実践し、設定した目標に照らして結果を評価することができる。 4．必要に応じて看護計画を修正することができる。 5．自分の行った看護をまとめ、学んだことをグループメンバーと共有することができる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	精神看護学分野	23UNSS2167	精神看護学概論	2	精神看護の対象および精神の健康問題の概観について理解し、今後精神看護学を学んでいく上での自身の課題を見出すことができる。	1．精神医療保健福祉の現状および歴史をふまえ、精神看護の対象についての概観を理解する。 2．現代社会における精神の健康の多様性と精神疾患や障がいに対する偏見について考え、精神の健康とは何か、多面的多角的に理解を深める。 3．人々が自ら精神の健康を維持・増進できるような看護について考え、今後精神看護学を学んでいく上での自身の課題を見いだすことができる。	◎	◎						○			
		23UNSS2168	精神看護学Ⅰ	2	精神疾患/障害や治療についての基礎的知識・理論について学び、疾患/障害をもつ人への基本的な看護アプローチついて学ぶ。また、地域包括ケアのあり方や、援助者自身の健康の保持について考えることができる。	1．精神の疾患/障害のとらえ方について理解する。 2．主な精神疾患/障害の成り立ちや特徴、主な治療について説明できる。 3．精神疾患や障害に関連する検査・診断・症状を、その人の生活の視点からみて、その人にとってはどのような体験かを考え、看護の方向性を多面的に検討することができる。 4．精神疾患や障害をもつ人の回復や地域生活を支援する上での地域包括ケアついて学び、多職種連携について考えることができる。 5．援助者のメンタルヘルスについて学び、援助者の健康の保持について考えることができる。		◎									

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	精神看護学分野	23UNSS3169	精神看護学Ⅱ	3	精神疾患/障害をもつ人への看護アセスメントの考え方について学び、精神看護を実践するための具体的な知識や技法について学ぶ。また、精神科における倫理的課題に取り組む姿勢を身につける。	1．精神看護を実践する上で、対象者を多面的に理解する必要性や技法について理解を深める。 2．精神看護を実践する上でのアセスメントの視点、考え方を理解できる。 3．対象者のストレングスやその人らしさを大切にすることの重要性や意味についての理解を深め、対象者を主体とした看護アプローチについて考えることができる。 4．精神科における入院形態や行動制限の現状について学び、必要性や問題・対策について考えることができる。 5．精神科における倫理的問題や課題を考えることができ、倫理的課題への取り組みの姿勢について学生自らが気づくことができる。 6．精神看護を実践する上で、プロセスレコードの活用技法や意味について理解できる。 7．精神疾患/障害をもつ人への理解を深め、地域で生活していくための資源活用や連携をふまえた看護アプローチの方法について考えることができる。			○	○	◎	◎	◎	○			
		23UNSS3170	グループアプローチ	3	グループについての基盤となる理論について学び、様々なグループを体験し、体験を通して、人々の関係性やつながりがもたらす治療的な力について考える。また、これまでのグループ体験や本授業でのグループ体験を通して洞察を深め、看護におけるグループアプローチに活かすための自身の課題を見出す。	1．グループアプローチの基盤となる理論について学び、家族や地域の人々、学生同士のグループ、学内の人間関係といった日常のグループのあり方について考えることができる。 2．グループの中で、他者に自身の思いや考えを伝え（語り）、また他者の話しを聴く（理解しようと関心をもって聴く）体験を通して、語る・聴く意味について考えることができる。 3．人と人との関係で生じる、共感やサポート、成長など、これまでの自身のグループ体験を通して考えることができる。 4．看護におけるグループやチームのあり方について考え、グループでの自身の課題に気づくことができる。		◎	○								
		23UNSS3171	精神看護学実習	3後～4前	医療施設や地域での精神障害をもつ人とのかかわりを通して、精神障害をもつ人がかかえている困難や強みについて、その人の生活上の文脈から理解する能力を養う。そして、実習での自身の体験と関連づけて、精神障害をもつ人の健康回復や地域生活を送る上での看護や支援、また看護や支援を実践するための能力について考察することができ、精神看護を実践する上での自身の課題を見出すことができる。	1．精神障害をもつ対象者のかかえている困難や強みを、その人の生活上の文脈、健康障害や治療についての医学的理解、その人をとりまく社会環境と関連付けて、理解しようとすることができる。 2．対象者の健康回復や退院後の生活について、対象者とともにイメージを描こうとすることができ、精神障害をもつ人の健康回復や地域生活を送る上での看護や支援のあり方について考えることができる。 3．対象者との関わりをプロセスレコードで、援助的な関係のあり方について振り返り、振り返りを実践に生かすことができる。 4．自分に生じた感情や考えを、対話や記録を通して他者に伝えることができる。そして、他者の話を聴くことによって、自己および他者理解を深めることができる。 5．精神障害をもつ人々の地域生活や障害福祉サービスの実際、地域包括ケアシステムについての理解を深めるとともに、回復や生活支援にかかわる人々の連携について考え、看護の役割や課題について自身の考えを述べることができる。 6．社会や自らの精神障害者や精神医療についての偏った見方に気づくことができる。 7．精神看護において、自らがケアの道具であることについて、実習での体験と照らし合わせて、自らの考えを述べることができる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	統合分野	23UNSS4172	統合看護学実習	4	この科目では、各看護学分野で学んだ知識、これまで統合した学習内容や技術の習得を通して、組織の管理的な機能を把握した上でのチームの一員としての実践的な能力や対象者の生活の質の維持向上を目指したかかわりへの意識を育み、自己の人間的成長と看護師としての展望を明確にすることを目的とする。	1．実務的な看護実践を通して、時間的管理を考慮したケアの提供を看護師とともに行うことができる。 2．チーム医療および他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップの実際を知ることができる。 3．組織における看護管理の機能と役割の実際を知ることができる。 4．対象者の疾病予防や生活の質を確保するための施設と地域との連携や生活の質に影響する口腔ケアに関する専門的な支援のあり方に対して、自分の考えをまとめることができる。 5．多様な場面や状況において、人々の健康上の課題に対応する看護師の役割と活動の実際を述べることができる。 6．本実習を通して自身の看護師としての将来像や看護観を述べることができる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		23UNSS4173	看護マネジメント	4	看護マネジメントは良質で、安全な医療を効率的に提供するために必要不可欠な過程である。本講義では、組織管理、看護ケアの質管理、安全管理、キャリア開発といった看護マネジメントの基礎的知識を習得する。	組織における看護体制、ケアにおけるマネジメント、チーム内でのメンバーシップやリーダーシップ、看護ケアサービスの質管理といった安全で良質な医療を提供するために必要な看護マネジメントの基本について理解を深める。		◎						◎		◎	
		23UNSS2174	家族看護学	2	この科目では、家族とは何か、家族に対するアセスメント、家族支援に関する理解を深め、それらの学びを活用して実習で受け持った事例の家族に関する分析を行うことを目的とする。	1．家族に関連する種々の理論の概要を理解できる。 2．家族を援助するためのアセスメントの視点を理解できる。 3．家族に対する援助を考えるための視点を理解できる。 4．実習での事例を通じて、家族への援助を検討する。		◎	○		○	○					
		23UNSS3175	看護研究方法	3	社会的な動向に関連した看護研究の発展過程を通して、看護研究が看護実践の質的向上に必要である観点の理解を深める。また、研究のプロセスや研究の倫理に関する基礎的学習を行い、研究計画書や論文作成の基本、発表方法などの基礎的素地を育成する。加えて、代表的な研究デザインをとりあげて、量的・質的研究それぞれの特徴と実際の展開例を学習する。	1．看護研究と看護実践の関連性について自分なりの考えをまとめ、研究課題をどう見出すかを考察することができる。 2．研究目的に合致する研究デザインの選択ができる。 3．研究の倫理的配慮に関して必要な項目をあげることができる。		◎					◎	◎			
		23UNSS4176	卒業演習	4	看護研究の方法論や看護の基礎・専門領域の既習の学びを基盤にし、各自の問題意識から研究テーマの明確化を行った上で研究プロセスを主体的に学習し、研究に対する基礎的な態度を身につける。	1．研究の必要性や意義を踏まえ、看護において解決すべき問題や現象、疑問事項などの自分の研究テーマを明らかにすることができる。 2．研究テーマから研究目的の明確化を行い、目的に合致する研究計画書の作成ができる。 3．研究計画書に基づいてデータ収集および分析ができる。 4．研究によって得られた結果・考察に基づき、論文にまとめ、示説発表を行うことができる。							◎	○	◎	◎	

科目番号			科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
							1．知識・理解		2．表現		3．思考			4．態度・志向性			5．実践
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	統合分野	23UNSS4177	災害・国際看護論	4	グローバル社会・多文化共生社会で活動する看護師として必要な災害看護および国際看護の基礎的な知識を学習する。	1．自分の身近に多様な人・文化が存在している現状を知り、異文化／多文化による摩擦や保健上の課題を理解できる。 2．世界の健康問題の現状と、保健医療体制が国・地域によって異なることを理解することができる。 3．国内外の災害発生状況および災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解することができる。 4．災害看護・国際看護にかかわる組織とその役割について理解できる。 5．災害サイクルや活動の場に応じた看護の役割を考えることができる。		◎							◎		